

ひだご坊真宗教化センターだより 2022年4月号

Shinron
550
800

南無阿弥陀仏
人と生まれたことの意味をたずねていこう

発行日:2022(令和4)年3月28日 第21号 発行者:飛騨御坊真宗教化センター長・高山別院輪番 三島多聞
高山市鉄砲町6 TEL 0577-32-0776 web http://hidagobo.jp takayama@higashihonganji.or.jp

慶讃法要特別事業「高山別院報恩講 帰敬式法座」を実施 テーマ 南無阿弥陀仏一人と生まれたことの意味をたずねていこう

真宗大谷派では、2017年度から新たに「帰敬式法座」が開設され、2023年の慶讃法要までに全教区(改編前の30教区)で実施すべく取り組まれています。

高山地区においては、今年11月の高山別院報恩講の帰敬式を「帰敬式法座」として実施することが決定され、現在、帰敬式法座スタッフ会を設置し、その準備が進められています。

センター教化の三本柱の一つである帰敬式推進の取り組みでもあり、多くのご門徒にご参加いただくとともに、僧侶と門徒が「共に仏弟子」であることの確かめの場となるため、組及び各ご寺院のご理解とご協力をいただきながらの実施が願われています。



実施目的—100年教化として・尊敬し合う「同朋関係」を構築

センター教化の三本柱の一つ帰敬式の推進は、「同朋社会の実現」を目的とするものであり、今後「100年教化」として飛騨地域の真宗文化の底上げを成すための継続事業として取り組んでいく。

帰敬式の受式は当人にとっての「立教開宗」であり、自覚をもって立つ一人の真宗門徒の誕生である。それは、僧俗共に同じ立ち位置にあること、共に仏弟子であることが強く意識されることでもある。この一点において、共に聞法と語り合いの場を創り、尊敬し合う「同朋関係」を構築することを、帰敬式を推進する中で実現していく。

この流れをセンター第2期での更なる帰敬式の推進につなげていく。

お一人お一人のご理解とご協力のもと
実施されていくことが願われています

実践項目—存命中の受式を・法名の意味を聞法課題に

- ◇未受式の方への帰敬式受式の呼び掛け。
- ◇存命中の帰敬式受式が願われることの認識の定着を目指す。
- ◇住職から授与した法名の意味を伝達し、受式後の聞法課題としていただく。
- ◇これを機に、教区及び組、別院、各所属の寺院の法座への参加を促す流れを作る。

「帰敬式法座」概略

※詳細は web ひだご坊で ↓

- 1.別院での帰敬式とともに、これまで実施されてきた別院での学習会に組での学習会を加えて実施します。
- 2.受講対象者 別院での帰敬式受式希望者
- 3.受講者定員 160人(慶讃事業として)
- 4.参加費 13,000円(別院帰敬式冥加金)
- 5.募集期間 7月1日～9月30日
- 6.開設法座



各組(各ブロック)開催	
講座①	期日 2022年10月～2023年2月末の間で実施 (他行事〈親鸞教室他〉との合同開催も可) 内容 ①帰敬式—法名を名のるということ ②真宗の本尊—お内仏のお給仕
講座②	高山別院報恩講帰敬式事前学習会(従来より開催) 期日 2022年10月中下旬 内容 慶讃テーマを通して
講座③	高山別院報恩講での帰敬式執行 開催日 2022年11月3日 内容 帰敬式執行・同朋唱和・法話(テーマ:「真宗門徒」)
講座④	帰敬式受式者奉仕団(又は団体参拝) 開催日 未定 ※慶讃法要団体参拝で検討も可

アフターとして、法名の意味の伝達・別院・組の行事への案内の奨励をしております。
コロナ感染状況への対応により、実施方法や内容等変更する場合があります。

岐阜高山教区(高山教務支所)
飛騨御坊真宗教化センター

駐在教導 橘出



★センター・別院からのお知らせ★

※各行事は、コロナ感染の状況により中止や変更になる場合があります。

別院境内掲示板に中高生の法語掲示

別院境内掲示板に、市内書道教室の中高生から法語を筆耕いただき、掲示しておりますのでお知らせします。また今後は、2022年10月末まで、1か月毎に張り替えを行ってまいりますので、是非ご覧ください。



聖教学習会『安楽集』に学ぶ—時機の自覚—

去る2/25、3/8、3/15に聖教学習会がオンライン受講と会場の併用で開催されました。

講師はマイケル・コンウェイ大谷大学准教授、講題は「『安楽集』に学ぶ—時機の自覚—」。道綽は、末法における浄土の選びと聖道・浄土の真偽の観点から教相判釈していかれました。末法にして五濁悪世の時代における救済を課題にしましたが、人間業を背負った衆生にとっては、本願を信じ念仏申す浄土教こそが唯一の成仏の道であると述べられました。

第40回 真宗公開講座 4月開催

日時:4月5日(火) 14:00～ 主催:逃げれば暗い 引き受ければ明るい
講師:和田英昭氏(郡上市照明寺住職) 会費:500円

第2回「是旃陀羅」問題学習会 ※申し込みが必要です

日時:5月23日(月) 13:30～16:30
講師:中山善雄氏(本山教研研究員) 講題:『観経』『観経疏』の思想的背景
※詳細については、同封のご案内をご覧ください。

高山別院より感謝状を贈呈しました 田中正躬さん寄付



高山別院責任役員田中正躬様より、御坊会館ワイヤレスチューナー増設工事に際し、ご寄付を頂きました。

令和4年2月22日、田中さんのご自宅にて高山別院三島輪番より感謝状と記念品を贈呈させて頂きました。

同朋会運動—同朋としての出会いの場を願って① <吉城組組門徒会研修会講義録> 四衢 亮氏

慶讃法要・センター教化の三本柱への取り組みの起点として同朋会運動を学ぶ

今年、同朋会運動が発足して60年を迎えます。人間でいえば還暦を迎えることとなりますが、節目を迎え、人がその人生を振り返るように、同朋会運動の歩みについて振り返り、何が願われているのか確かめることも大切にしていきたいと思います。殊に「宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」をお迎えしようとしている今、また、教化の三本柱(帰敬式・同朋唱和・青少年教化)の推進を掲げて飛騨御坊真宗教化センターが動き出し取り組んでいく起点として、同朋会運動とは如何なるものなのかを確かめていくことを外すことはできません。

このたびの教区改編を機に、高山地区では、昨年度より「組門徒会研修」の実施方法が大きく変更され、年2回、任期3年間で6回の研修を行うこととなりました。そのテーマの一つとして「真宗同朋会運動とは—真宗同朋会運動の願いと教団問題」が設けられており、昨年10月、吉城組組門徒会研修において、この同朋会運動をテーマに四衢亮師(高山1組不遠寺住職)にご講義をいただきました。その抄録を、今号より「同朋会運動—同朋としての出会いの場を願って」をテーマとして6回にわたり掲載してまいります。

今後、組門徒会研修を各組で講師を立てて実施していくにあたり、そのための学習資料としてご活用いただきたいとの思惑もありますが、まずは、慶讃法要・センター教化の三本柱に取り組む者として、真宗大谷派宗門のお寺をお預かりする者の使命として、本稿をご一読いただきたく願うものであります。

また、ロシアによるウクライナへの侵攻という、国と国との戦争が勃発してしまった今、「真宗同朋会とは、…それは「人類に捧げる教団」である。世界中の人間の真の幸福を開かんとする運動である」と掲げられてあるこの運動が、「力づくの世界を変えていく原動力でもある」と確かめられることも願われます。

■同朋会運動—共に生き合う社会の実現を

1961年に親鸞聖人の七百回御遠忌法要が勤まりました。同朋会運動は、その次の年の1962年から始められた信仰運動です。このままの宗門ではなくて、みんなが教えを聞いてその意味を確認し、あらゆる人々が「とも同行」「同朋」として生き合えるような、もう一度、宗門をみんなが教えを聞いて共に語り合っているような場にしていこうと、そういう教団にしていこうというところから始まりました。

そして今、宗祖七百五十回御遠忌法要を経て、私たちは2023年に「宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」をお迎えすることとなります。

この同朋会運動ということで、大谷大学の藤原正寿先生が簡単にまとめてくださった文章がありますので、まずはそれをご紹介します。

真宗大谷派における同朋会運動とは、1962(昭和37)年に当時宗務総長であった訓覇信雄によって提唱された信仰に基づく宗門改革運動である。具

体的には、前年の1961年の宗祖親鸞聖人七百回御遠忌を機縁として、今後の教団の方向性として、「同朋会の形成促進」ということを打ち出すところから始まる運動で、その願いは、信仰に基づく(共に生き合う社会)を実現することを教団の使命とするということにある。(大谷大学 藤原正寿)

「共に生き合う社会」を開いていくような、そういう教団・宗門でありたいというのを願いとして、まずは、真宗大谷派宗門が本当に同朋と言いうような集まりになっていこうということで始まった運動です。

■信心が開く世界—同朋① 明法坊の御往生

それで「同朋」とはどういうことなのか、その言葉の意味から確認しておきたいと思います。親鸞聖人のお手紙の中に「同朋」という言葉が2回ほど出て来ます。その一通で親鸞聖人の80歳の時の手紙ですが、

明法の御坊の御往生のことを、まのあたりにききそうろうもうれしくそうろう。また、ひとびとの御ころざしも、ありがたくおぼえそうろう。(略)としごろ念仏して往生をねがうしるしには、もとのあしかりしわがころをもおもいかえして、どもの同朋にもねんごろのころおわしましあわばこそ、世をいとうしるしにてもそうらわめとこそ、おぼえそうらえ。よくよく御ころえそうらべし。(『御消息集広本』(二)聖典563頁)

高山1組不遠寺住職
企画会議副座長 四衢 亮



『高山市民時報』ミニ法話『響』4月の寄稿者

- 森 恒河氏 (高山2組 秋聲寺住職)
- 三島 多聞 (高山別院輪番)
- 四衢 亮氏 (高山1組 不遠寺住職)
- 伊達俊幸氏 (高山1組 稱讃寺住職)

web ひだご坊でも「一口法話」配信中!

※印刷したものの郵送をご希望の方は、教務支所までご一報ください。

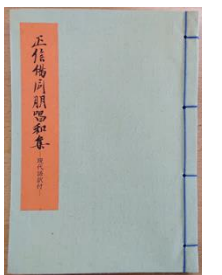
『正信偈同朋唱和集』和綴版 有償頒布のお知らせ

飛騨御坊御遠忌の記念として発行された『正信偈同朋唱和集』の和綴本を有償頒布いたしております。各ご寺院での永代経などの記念品として活用いただくことをお勧めします。

在庫数も残り120冊となっておりますので、ご要望の方は高山教務支所まで早めにご連絡ください。

『正信偈同朋唱和集』和綴版(薄緑色) 1冊:1200円

他書籍在庫状況:『正信偈同朋唱和集』並製/170冊・『女と男の南無阿弥陀仏』/70冊



飛騨御坊真宗教化センター・高山別院 2022年4月行事予定 ※コロナ感染の状況により中止や変更になる場合があります。

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院・教区	会場
1	金			
2	土			
3	日	13:00	別 三日のご坊 法話:櫻居和彦氏(西光寺住職)	本堂
4	月	9:00	教 得度事前研修会	高山支所
5	火	7:00 14:00	別 半日華 七 真宗公開講座(和田 英昭氏)	御坊会館
6	水	13:00	教 高山支部坊守会研修会②	研修室
7	木	13:30	教 法要教化部会 web	高山支所
8	金			
9	土			
10	日			
11	月	13:00 14:30	別 大谷婦人会追弔会・総会 法話:輪番 七 企画会議	本堂 研修室
12	火			
13	水	7:00 7:00	別 前住上人ご命日 別 半日華	本堂
14	木			
15	金	13:30	別 学場委員会	研修室
16	土			
17	日			

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院・教区	会場
18	月	13:30	教 岐阜支部坊守会研修会 Web	研修室
19	火	13:30 10:00	教 慶讃推進委員会・教化委員会 教 全国若坊守研修会 Web	高山支所 ミーティングルーム
20	水	10:00	教 全国坊守研修会 Web	ミーティングルーム
21	木		教 女性会議 Web	研修室
22	金			
23	土			
24	日			
25	月	14:00 19:00	七 帰敬式法座スタッフ学習会② 組 朝日高根組真宗公開講座	研修室 寶蓮寺
26	火	7:00	別 半日華	
27	水	13:00 19:00	別 親鸞聖人お遠夜 組 高山2組親鸞教室⑤	本堂 高山別院
28	木	13:00 19:00	別 親鸞聖人御命日 法話:澤邊 恵亮氏(誓願寺住職) 教 教化研究所	本堂 研修室
29	金			
30	土	19:00	組 高山1組親鸞教室①	研修室

2022年5月 ※15日ごろまでの掲載とし、定例行事は省きます。

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院	日	曜	時間	ご坊センター・高山別院
10	火	13:00	教 高山支部坊守会研修会③	13	金	13:30	組 2組組会・同朋総会
10	火	19:00	組 益田組門徒会研修②	14	土	19:00	組 高山一組親鸞教室②

※ 高山1組・高山2組の後期教習は延期になりました(ともに、4/8~10⇒6/23~25)。